

地域と学校で「共」に子どもたちを「育」てていきます！

これまでの
地域と学校
の連携

「学校を支える地域」

- ・学校の「要望」を受けて、地域が授業・行事などの支援を行うため、一方通行の支援となりやすい。
- ・ボランティアの方と学校が「してあげる」「してもらう」の関係になってしまう場合がある。

これからの
地域と学校
の連携

「地域と学校がパートナー」

- ・地域と学校が一緒になって、その地区の子どもたちに「どのような教育が必要で、どのようなことができるか」を考える。
- ・地域と学校が「パートナー」として同じ目標で子どもたちの教育に主体的にかかわっていく。

POINT①
CS コミュニティ・スクールで地域と学校が一緒に考える
「子どもたちの学び」

コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクール(CS)は「**学校運営協議会**」を設置した学校のことです。地域や保護者などの「協議会委員」と学校が「学校運営協議会」として、地域の子どもたちの教育に必要なことやできることを一緒に考えていきます。

POINT②
地域学校協働活動で地域と学校が一緒に深め広げる
「子どもたちの学び」

地域学校協働活動とは？

地域学校協働活動は地域学校協働本部を中心に、幅広い地域住民の方が、地域の子供たちと一緒に育てる学校の「**パートナー**」として様々な教育活動に主体的に参画し、子どもたちの学びを深め、広げていく様々な活動です。



※ 蒲郡市では、中学校区で学校運営協議会を設置し、小中学校が連携して義務教育の9年間を通じた教育を地域の皆さんと一緒に考えてきます。
(地区によっては、学校単位でも並行して学校運営協議会を行います。)

「子どもたちの未来は、このまちの未来」



POINT③
目的 子どもたちの教育を通して進める
「未来のまちづくり」

「蒲郡市地域学校共育推進プラン」の理念
子どもたちは、これからの「未来のまちづくり」のために大切な存在です。子どもたちへの教育を通じて、蒲郡市民憲章にもある未来の「ひとづくり」「いえづくり」「まちづくり」を進めます。



※ 学校や公民館等、地域の中に「地域学校協働本部」を設置し、コーディネーターや支援員が、地域住民や企業の中から登録していただいた「がまいくパートナー」と学校をつなげながら教育活動に参画していきます。



「地域学校共育推進プラン」で進める
「ひとづくり」
「いえづくり」
「まちづくり」



みんなの力で「ひとづくり」
子どもたちにとって、地域の方々との「かかわりあい」は豊かな感性を育みます。また、子どもたちの笑顔は地域の方々の「心のビタミン剤」にもなります。



みんなの力で「いえづくり」
地域が子育て支援事業等を通じて家庭と一緒に子どもたちを育てることにより、家庭の教育力を高め、子どもたちが安心できる「いえづくり」につなげていきます。



みんなの力で「まちづくり」
蒲郡のたくさんの産業を子どもたちが深く知ることで、子どもたちが「地域の一員」としての自覚とイメージづくりにつなげます。また、学校を地域の「学びの拠点」として開放し、学びによるまちづくりを推進します。